

柿 特報 No.1

H28.3.17
JA 中野市営農センター
JA 中野市柿研究会

3月の平均気温は平年を上回っており、生育も徐々に進んでまいりました。剪定作業・SSの走行路の確保・SSの試運転などは、段取りよく進めましょう。園地の生育状況を観察し防除は遅れないように実施しましょう。

病害虫防除

◎休眠期（発芽前）の散布（3月下旬～4月上中旬）

* 他の園地や隣接するハウスビニールにかからないように散布する。

散布薬剤	水	90ℓ当り	散布日	月	日
	展着剤	10ml	散布量	ℓ	
	石灰硫黄合剤	10ℓ			
対象病害虫	黒星病、うどんこ病、（カイガラムシ類）				
散布量	10a当り 300ℓ * 若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。				
注意事項	* カイガラムシ類の発生園 スプレーオイルの25倍（発芽前）を散布する。 * 散布ムラがあると防除効果が劣るので、樹全体に薬液が十分かかるように散布する。				

カイガラムシ類の防除を徹底してください！！

カイガラムシを放っておくと、ヘタの部分が汚れてしまい、干し柿の品質を著しく悪くします。（出荷できない場合があります。）
休眠期の防除が最も効果的ですので、今回の防除を徹底して行いましょう。



カイガラムシによるヘタの汚染

裏面も必ずご覧ください。